

塗り薬の使用で気をつけること

チューリップ吉島薬局 やまだ あきひろ
山田 晃裕

こんにちは、チューリップ吉島薬局です。

当薬局は、かごうら皮膚科クリニックの近くにあり、塗り薬の処方をよく受けます。そこで今回は塗り薬の注意点について、いくつかお話ししたいと思います。

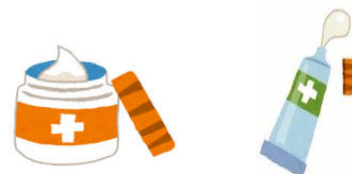
● 医師の指示を守りましょう

自己判断で塗る量を増やしたり、中止したりすると、思わぬ症状の悪化を引き起こすことがあります。塗り薬の適正な量、塗る部位や回数など、医師の指示を守って正しく使いましょう。



● そっと伸ばして塗布しましょう

塗り薬を「強く擦り込む」方法は間違っています。皮膚を強くこすことは皮膚炎の原因にも繋がります。皮膚表面に薬を置いておくイメージで、皮膚を優しく扱うことを優先して下さい。



● 適切な量を塗りましょう

一般に、軟膏やクリームでは、大人の人差し指の先から第一関節まで押し出した量、ローションでは、1円玉大の量が約0.5gです。この量で、大人の手のひら2枚分の面積が塗れます。

● 古い塗り薬の使用には注意しましょう

「とりあえず以前にもらった薬を使ってみた」と言われることがあります。以前とは実は違う病気の可能性もあります。部位によっては適切な薬ではない可能性もあります。新たな症状が出た時は、しっかり医師の診断を受け、適切な薬を処方してもらいましょう。

特に、混合されている軟膏や開封したチューブの場合は、効果が落ちていることも考えられます。分離しているものや変色したものは使用しないようにしましょう。塗り薬の見た目が変わらなくても医師や薬剤師に確認してから使うようにして下さい。



チューリップ吉島薬局では、お薬についての質問等を受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。



チューリップ吉島薬局

【問合せ先】

魚津市吉島1丁目7-22
(TEL) 0765-23-5030
(FAX) 0765-23-5117

【開局時間】

月・火・水・金 9:00~18:15
土 9:00~17:30